能登半島地震の被災地珠洲市に向け、
当院 DMAT（災害派遣医療チーム）を派遣

～令和6年1月11日（木）～1月16日（火）～

●1月11日 午後4時15分

医師2名、看護師2名、薬剤師1名、事務員2名、合計7名のDMAT隊が、能登半島地震対応DMAT5次隊として当院を出発しました。

～ 珠洲市保健医療福祉調整本部での活動の様子 ～

● 本部では横須賀共済病院、横浜市大附属病院、埼玉医大が共同して活動。

珠洲市の災害支援活動は、本部活動、避難所支援、病院支援、薬剤処方、患者や避難所生活に耐えられない被災者（非患者）の搬送、物資調整、市の職員のサポートなどが行われています。当院は他にも医療に関する相談窓口などにも対応しました。

● 1 月 16 日午後 4 時、帰院。

往路では土砂崩れなどがあり、最悪の場合たどりつけない、命にかかわるかもしれないという恐怖心もあったとのことですが、無事活動を終え、帰院しました。

この度の震災で被災された方々には、心よりお見舞い申し上げます。
1 日も早い被災地の復興をお祈りいたします。